

平和憲法を護れ

キリスト新聞

2014年 3月22日 [土曜日]

発行所 **キリスト新聞社**

東京都新宿区新小川町9-1

■和光市オフィス 埼玉県和光市本町15-51 和光プラザ2階

電話: 048-424-2067
ファクシミリ: 048-424-2068
振替口座: 00180-4-196016
URL: <http://www.kirishin.com>

©キリスト新聞社 2014

週刊・土曜日発行 / 第5週土曜日休刊

●予約購読料 (送料共)

3カ月分 3,700円 半年分 7,400円

1年分 14,700円

1部定価250円 (本体238円)

望楼 「これは、2011年ではなく、2014年の日本です」。3月11日、東京・渋谷駅など各地で福島民報、河北新報、岩手日報の東北3紙による号外が配布された。未だ復興の進まない被災地の写真と共に「この日だから、あえて現実を考えたと思います。本当に復興は進んでいるのだろうか」と訴えた。また岩手日報が同日配布した特別号外では「感謝胸に海原へ」と活躍する宮古の高校生ヨット部員の姿や「再生支える全国の力」と派遣職員の様子が全国の主要都市に届けられた。どちらも「東北の『いま』だ」号外は速報性があると同時に各紙のメッセージが凝縮されている媒体とも言える。「沿岸部は壊滅 気仙沼、南三陸」とは三陸新報による2011年3月12日の号外「津波特別号」の見出し。12日当時の気仙沼市内の被災状況、避難所の様子がつづられ、その最後は「勇気を出してがんばろう」と結ばれていた。小紙は次号よりリニューアルするが、根底にある訴えを損なうことなく今後も全国に紙面を届けたい。

新しい職場でチャレンジしませんか?

転職者職員募集(3名)

職種 ①出版業経験者
②聖書学・日本文学の履修者
③企画・人材養成経験者

待遇 本社規定による
勤務 午前9時～午後5時、土日祝休
応募 履歴書(写真添付)、身上書
4/7(月)必着で郵送下さい
書類選考あり
試験 面接・試験4/14(月)実施
採用 6月から

一般財団法人 **日本聖書協会**

東京都練馬区の桜台に、精神障がいを持った人たちの共同作業所「ホサナショップ」(泉田昭理理事長)がある。4月で21年目を迎える同所では、利用者たちが特技や能力を生かして、ジャムやクッキーなどのオリジナル商品を開発・製造・販売している。また、衣料品の販売や清掃活動、個別学習指導やバンド演奏に至るまで、幅広い活動を行っている。所長の小島敏さんと、主任の小池文彦さんは「福祉」の枠にとらわれない事業展開を目指している。

再軍備絶対反対

社長の対象となった。これを機に政策転換が図られ、医療機関に入院する必要のない精神障がい者が、医療施設の外で生活することが推進されるようになった。

現在同所で製造・販売しているオリジナル商品は、焼き肉のたれやラー油、パウンドケーキやクッキーなど、およそ20種類。協力教会の会員が商品のアイデアを出すこともある。

「職員が利用者さんを指導することはあまりなく、利用者とスタッフがチームを組んで行う仕事が多いです」と小島さんは話す。最近では中学生の個別学習指導も始めたという。国立大学出身の理系の利用者さんが、私立の中学生に数学を教えています。同じような仕事をできそうな人が何人かいるので、今後、個別指導は拡大していくと思えます。また、利用者同士でバンドを結成し、老人ホームや公民館で演奏も行って

いる。老人ホームでの訪問販売も活動の一つだ。月に1回ずつ、計6施設に訪問している。「地方にあるケアホームだと、入居者は遠方まで買い物に行かなければなりません。わたしたちが訪問して衣料品やお菓子、食料品などを部屋まで運んでいきます。入居者のリクエストにも応じ、希望の商品を任入れていく。中でも衣料品は「安い衣

料品店の半額くらい」で販売できるという。パレルメーカーの在庫の余りや、流行が過ぎた衣料品を問屋から安く仕入れるルートを確認しているからだ。この「ルート開拓」が、職員の重要な仕事の一つでもある。

こうした活動によって、利用者の生活リズムが安定し、持っている力を発揮することで、症状が好転していくという。

精神障がい者の「タラント」生かし社会に周知を

共同作業所「ホサナショップ」のビジョン



人気の衣料品販売

ホサナショップは就労継続支援B型の事業所。常勤職員は、小島さん(日本パテント教会連合練馬パテント教会会長)、小池さん(日本福音ルーテルむさしの教会会長)、生活支援員の宮崎彩子さんの3人で、他に非常勤職員が3人いる。現在46人の登録者があり、月々金曜日の午前9時半～午後3時半、およそ23人の通所者が作業を行っている。保健所、病院やソーシャルワーカー、教会からの紹介で入所する人がほとんどだ。

設立のきっかけは、精神障がいの息子を持つTさんが、所属する練馬パテント教会の泉田昭理(現・同教会名誉牧師)に、「精神

障がい者のためのキリスト教主義の作業所を作りたい」と相談し、運営委員長として名前を貸してほしいと依頼されたことだった。1993年4月の開所を目指していたTさんはその年の2月に亡くなり、泉田牧師が名実ともに運営委員長として4月に開所。03年から理事長を務めている。

泉田牧師の呼びかけで、日本神の教会連盟、日本同盟基督教団、フェロシッパ・ティコンリー福音教団、基督聖協団などの練馬区近隣7教会が協力教会として運営委員会に加わった。

開所した93年は、「精神保健法」が改正された年でもあった。それまで「病者」であった精神障がい者が、福

同所にはあらゆる精神疾患の人がいるが、中心は統合失調症だ。統合失調症には主に、幻聴や妄想などが表れる陽性症状と、気力や集中力がなくなる陰性症状がある。病院では薬物療法が中心だが、陰性症状については活動の場がないと改善しないという。

「作業をすることで、持っている力を発揮する。他人と関わる。職員との相談や対話の中で自分の状況を理解し、最終的には自分で問題を解決するための決断を出す。そのような支援をしています」と小島さんは語る。

「利用者の関わりはどの程度でも」

同所にはあらゆる精神疾患の人がいるが、中心は統合失調症だ。統合失調症には主に、幻聴や妄想などが表れる陽性症状と、気力や集中力がなくなる陰性症状がある。病院では薬物療法が中心だが、陰性症状については活動の場がないと改善しないという。

「作業をすることで、持っている力を発揮する。他人と関わる。職員との相談や対話の中で自分の状況を理解し、最終的には自分で問題を解決するための決断を出す。そのような支援をしています」と小島さんは語る。

「職員が利用者さんを指導することはあまりなく、利用者とスタッフがチームを組んで行う仕事が多いです」と小島さんは話す。最近では中学生の個別学習指導も始めたという。国立大学出身の理系の利用者さんが、私立の中学生に数学を教えています。同じような仕事をできそうな人が何人かいるので、今後、個別指導は拡大していくと思えます。また、利用者同士でバンドを結成し、老人ホームや公民館で演奏も行って

いる。老人ホームでの訪問販売も活動の一つだ。月に1回ずつ、計6施設に訪問している。「地方にあるケアホームだと、入居者は遠方まで買い物に行かなければなりません。わたしたちが訪問して衣料品やお菓子、食料品などを部屋まで運んでいきます。入居者のリクエストにも応じ、希望の商品を任入れていく。中でも衣料品は「安い衣

料品店の半額くらい」で販売できるという。パレルメーカーの在庫の余りや、流行が過ぎた衣料品を問屋から安く仕入れるルートを確認しているからだ。この「ルート開拓」が、職員の重要な仕事の一つでもある。

「作業をすることで、持っている力を発揮する。他人と関わる。職員との相談や対話の中で自分の状況を理解し、最終的には自分で問題を解決するための決断を出す。そのような支援をしています」と小島さんは語る。

「職員が利用者さんを指導することはあまりなく、利用者とスタッフがチームを組んで行う仕事が多いです」と小島さんは話す。最近では中学生の個別学習指導も始めたという。国立大学出身の理系の利用者さんが、私立の中学生に数学を教えています。同じような仕事をできそうな人が何人かいるので、今後、個別指導は拡大していくと思えます。また、利用者同士でバンドを結成し、老人ホームや公民館で演奏も行って

いる。老人ホームでの訪問販売も活動の一つだ。月に1回ずつ、計6施設に訪問している。「地方にあるケアホームだと、入居者は遠方まで買い物に行かなければなりません。わたしたちが訪問して衣料品やお菓子、食料品などを部屋まで運んでいきます。入居者のリクエストにも応じ、希望の商品を任入れていく。中でも衣料品は「安い衣

料品店の半額くらい」で販売できるという。パレルメーカーの在庫の余りや、流行が過ぎた衣料品を問屋から安く仕入れるルートを確認しているからだ。この「ルート開拓」が、職員の重要な仕事の一つでもある。

こうした活動によって、利用者の生活リズムが安定し、持っている力を発揮することで、症状が好転していくという。

こうした活動によって、利用者の生活リズムが安定し、持っている力を発揮することで、症状が好転していくという。

商品情報は、同所での直接販売の他、2号店(練馬区桜台1-7の駐車場)、オンラインショップ (<http://hosanashop.thebase.in/>)でも販売している。行政機関での移動販売もある。また「出張ホサナショップ」として、教会や訪問販売にも応じている。問い合わせは、ホサナショップ(練馬区桜台1-12-5 栖鳳マンション203号室、☎03-3991-7931、FAX03-3991-7941)まで。ホームページ (<http://hosanashop.art.cocca.n.jp/index.htm>)も参照。(3面に、ホサナショップからの読者プレゼントあり)

アフリカの飢餓をなくすための

ハンガーゼロ アフリカ

サポーター大募集!!

☎072-920-2225

日本国際創設対策機構

<http://www.jifn.org/>

毎月一口1,000円 クレジットカードで支払えます

商品情報は、同所での直接販売の他、2号店(練馬区桜台1-7の駐車場)、オンラインショップ (<http://hosanashop.thebase.in/>)でも販売している。行政機関での移動販売もある。また「出張ホサナショップ」として、教会や訪問販売にも応じている。問い合わせは、ホサナショップ(練馬区桜台1-12-5 栖鳳マンション203号室、☎03-3991-7931、FAX03-3991-7941)まで。ホームページ (<http://hosanashop.art.cocca.n.jp/index.htm>)も参照。(3面に、ホサナショップからの読者プレゼントあり)

「キリスト新聞」は次号の2014年4月5日付(第3307号)より紙面をリニューアルいたします。キリスト教界のニュースを幅広く取り上げるだけでなく、テーマで

家、僧侶、農民詩人、宇宙核物理学者に筆者を加え、からの教育」など会津地域のNPOの方々からの具体エネルギー基本計画政府案への批判、そして世論調査

査対象中26人で、がんの疑多数意見とは全く反対の方

向へ猛スピードで突っ走